

保護者等からの事業所の集計結果(公表)

事業所名 児童発達支援 つなぐ

保護者等数(児童数) 12 回収数 12 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12				・様々な運動用の用具があるが走ることもできる広さがある。 ・もう少し広くてもいいのかなと思います	広さに関して、個々の感じ方の違いがあります。引越しの予定もありませんので、現在のスペースで安全に子ども達が活動できる工夫を常にしてまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12				・マンツーマンで様々な運動の指導を受けられる ・よくみていただいています ・マンツーマンでしっかりとみていただけています	ご意見ありがとうございます。今後も継続してまいります。
	③	生活空間は、子ども達にわかりやすい構造化された環境 ⁱ になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリーや情報伝達等への配慮が適切にされているか	8	2		2		教室内は構造化されていて、視覚情報での誘導もされています。バリアフリーについては賃貸の為、現状からの変更は難しいです。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12				・いつも整頓されている。活動中に不要なものを隠すスペースもつくられている ・運動の時にはもう少し広くてもいいのかなと思います	
適切な 支援の	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画 ⁱⁱ が作成されているか	12				・本人の苦手な部分を把握し、プログラムに取り入れられている ・2022年2月以降改善されたと思います ・分かりやすく計画たてていただきました	お子様やご家族からの要望などを確認し、計画書を作成しています。計画書の内容を説明、確認していただいたうえでサインをいただき、期間中の支援方針を定めています。
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12				・よくみていただいています	
	⑦	活動プログラム ⁱⁱⁱ が固定化されないよう工夫されているか	12				・様々な運動や体の使い方を学べて、本人も楽しく取り組んでいる ・とても工夫されているのがわかります	運動や机上の課題は、お子様を飽きさせず、常に楽しく活動していただくために必要に応じて変更しています。また、児童それぞれによって個別でトレーニングを行い課題は毎回工夫しています。

提供	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか		5	7	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が保育所に入所しているので特に希望していません ・参加したことがないので分かりません ・個別45分という活動のなかでは難しいかなと思います ・交流の有無については分かりませんが、学校での定型発達の子供との交流はできており不安ないと考えております 	
	⑨	契約時に、運営規則や利用者負担等について丁寧な説明がされたか	12				契約時の重要事項説明の際に施設の概要、利用方法、支援内容、職員体制、利用負担、欠席時、上限管理などその他全ての項目に沿って説明を執り行っております。
保護者への説明等	⑩	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づいて作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	12			・多分されたと思います	
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ^{iv} 等)が行われているか	3	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは情報提供受けていません ・参加したことがないためわかりません 	これまでに保護者会やペアレントトレーニングの開催はしてありました。今後もコロナ等の状況も加味しながら開催検討していきます。
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と共有し、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12			<ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動内容や本人の様子を制つめいしたり記録に残すことで詳しく報告してくださる ・毎回ご連絡いただけるのでとてもわかりやすく安心します。先生から教えていただける息子の姿は家では見られない姿なので、わが子ですが新発見できる感じがとてもうれしいです ・毎回様子をくわしく教えていただきありがとうございます 	紙ベースの連絡帳ではなく、システム配信をし、携帯でいつでも見られるようにしています。活動の様子を丁寧に伝えお父さまがどのような状況であるかを共有し、モニタリングが常にできる状況にしています。
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12			<ul style="list-style-type: none"> ・相談事に対してアドバイスをいただけます ・不安点を明確していただきサポートして頂いています 	ご意見ありがとうございます。今後も継続してまいります。
	⑭	父母の会の活動支援や、保護者会等を開催し保護者同士の連携を支援しているか	1	2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会はないようなので・・・ ・参加したことがないためわかりません ・コロナが収まったらぜひ開催してもらえたらと思います 	これまでに保護者会を開催はしてありました。今後もコロナ等の状況も加味しながら開催検討していきます。

	⑮	子どもや保護者からの相談や要望があった際に、迅速かつ適切に対応しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> ・要望が多いのですが、いつも快く対応して下さります ・対応がとてもはやいと思います ・気になる場所を相談するとすぐに対応していただけるとと思います 	ご意見ありがとうございます。今後も迅速に対応してまいります。
保護者への説明等	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がされているか	12			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡がLINEでとりやすく、また、その日の活動もWebで見られるのでわかりやすい 	
	⑰	定期的に活動概要や行事予定、利用連絡等、連絡体制等がスムーズに行われているか。また、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して会報やホームページ等で発信されているか	11			1 <ul style="list-style-type: none"> ・LINE頂けるので助かります 	定期的な会報ではなく、公式LINE、連絡システムで行っています。また、ホームページに掲載している自己評価を見つけれなかったというご家庭には、個別にご説明して確認していただきました。
	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	12				
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	6	2		4 <ul style="list-style-type: none"> ・学級閉鎖の際にも対応をすぐしてくださいました ・覚えていません ・必ずしも必要とは思いません 	
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		6 <ul style="list-style-type: none"> ・参加したことがないため分かりません ・訓練をしているかどうかは知りませんが必ずしも必要とは思いません 	事業所としてはマニュアルを設定し訓練をしている旨を説明しました。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1		<ul style="list-style-type: none"> ・到着すると駆け足で施設に入るなど楽しみな様子がみられる ・親子で楽しみにしています ・二人とも楽しみにしています ・通所を嫌がることはないのですが、勉強に苦手意識があるようです 	学習の苦手意識があるお子さまのご家庭にはスモールステップで無理なく進めていく旨を説明させていただきました。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> ・大変お世話になっており、感謝しかありません ・とてもよくしていただいています ・大満足です。これからもよろしく願います 	ご意見ありがとうございます。今後ともよろしく願っています。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
 - ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
 - iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
 - iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することをも目標とします。
-